

# 令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

ハツメ

海域	日本海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
----	-----	------	--

## (1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報、漁場別漁獲情報の収集、日本海西部および北部における資源調査（分布調査）および各府県調べの漁獲情報の集約を実施。また、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集ならびに底びき網による漁獲情報の収集を実施

## (2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・山形県では2020～2021年の月別漁獲量を収集済み
  - ・新潟県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2016～2018年の月別漁法別漁獲量は精査中
  - ・石川県では主要10港の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・福井県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・京都府では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・鳥取県では2011～2018年および2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2010年以前の沖底漁獲量は精査中
  - ・島根県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2007～2018年の月別漁法別漁獲量は精査中
  - ・水産資源研では各府県調べの漁獲量を集約し、秋田県、富山県、兵庫県では漁獲量が少なく、県調べの集計がないことを確認。また、日本海西部・北部における資源調査ならびに標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施

(3) 生物学的特性

- |   |
|---|
| <p>(1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照</p> <p>(2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照</p> <p>(3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照</p> <p>(4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照</p> |
|---|

(4) 備考

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・多くの地域で、メバル類やその他の集計として他種と合算されていることもあり、引き続き、精査が不可欠</li><li>・日本海西部・北部における資源調査や標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要</li><li>・日本海西部と日本海北部の個体群の生物学的・遺伝学的関係を調べることが重要</li></ul> |
|--|